

◆学会報告

- 1) 浅野真司, 水谷基文, 林 利光, 森田直賢, 竹口紀晃: 生薬成分 Scopadulcic acid B の H^+ , K^+ -ATPase の阻害作用. 第62回日本生化学会大会, 1989, 11, 京都
- 2) 浅野真司, 水谷基文, 林 利光, 森田直賢, 竹口紀晃: H^+ , K^+ -ATPase の脱リン酸化段階を阻害する薬物. 生体エネルギー研究会第15回討論会, 1989, 12, 名古屋
- 3) 清水昌寿, 太田隆英, 有澤宗久, 越村三郎, 小田島肅夫: 分化誘導剤併用による化学免疫療法の抗腫瘍効果増強について. 第49回日本癌学会総会, 1990, 7, 札幌
- 4) 清水岑夫, 松澤孝泰, 鈴木正一, 吉崎正雄, 森田直賢: 当帰の品質評価と安定確保に関する研究. 日本薬学会第110年会, 1990, 8, 札幌
- 5) 寺島 恵, 清水岑夫, 今井匡弘, 上田 裕, 石倉正俊, 中山 一, 鈴井明男, 森田直賢: 薬物による白内障治療効果の判定法の試みと AR 阻害剤への応用. 日本薬学会第110年会, 1990, 8, 札幌
- 6) 藤田章夫, 有澤宗久, 林 利光, 森田直賢, 林京子, 落合 宏: アカメガシワ果皮の細胞毒性成分の研究 (第7報). 日本薬学会第110年会, 1990, 8, 札幌
- 7) 林 利光, 岡村香奈, 浅水哲也, 川崎 勝, 鈴木正一, 吉崎正雄, 森田直賢: *Scoparia dulcis* L. のカルス培養及び形質転換体によるジテルペンの生産. 日本薬学会第110年会, 1990, 8, 札幌
- 8) 林 利光, 浅野真司, 水谷基文, 竹口紀晃, 小島輝美, 岡村香奈, 森田直賢: *Scoparia dulcis* L. の新成分 scopadulciol の構造と類縁化合物の H^+ , K^+ -ATPase 阻害作用. 日本薬学会第110年会, 1990, 8, 札幌
- 9) 諸橋正昭, 高橋省三, 関 太輔, 清水岑夫, 森田直賢: アオキ抽出物質の外用による抗炎症作用の検討. 第7回和漢医薬学会, 1990, 8, 富山
- 10) 浅野真司, 水谷基文, 林 利光, 森田直賢, 竹口紀晃: Diacetyl scopadol による H^+ , K^+ -ATPase のコンフォメーション固定. 第63回日本生化学会大会, 1990, 9, 吹田
- 11) 白 樺, 伊藤裕輔, 有澤宗久, 林 利光, 清水岑夫, 森田直賢: ネコノメソウ, ヤマネコノメソウの細胞増殖抑制成分の研究. 日本生薬学会第37年会, 1990, 11, 千葉
- 12) Ruri Takesaki, 百瀬弥寿徳, 中西穎央, 有澤宗久, 森田直賢, 渡辺裕司: 南米パラグアイ薬草

Nangapyry の降圧作用に関する研究. 日本生薬学会第37年会, 1990, 11, 千葉

薬 用 資 源 学 (2)

教 授 小 泉 徹
助 授 竹 内 義 雄
助 手 荒 井 謙 次
助 手 高 橋 たみ子

◆ 原 著

- 1) Arai Y., Matsui M., and Koizumi T.: Diastereoselective Synthesis of 10-(Alkylsulfanyl)- and 10-(Alkenylsulfanyl)isborneols by Oxidation of the Corresponding Sulfides with 3-Chloroperoxybenzoic Acid. *Synthesis*. 320-323, 1990.
- 2) Arai Y., Takadoi M., Kontani T., and Koizumi T.: The First Synthesis of a Thermally Stable, Chiral Allenic Sulfoxide, (2-*exo*-Hydroxy-10-bornylsulfanyl) propa-1, 2-diene. *Chem. Lett.* 1581-1584, 1990.
- 3) Arai Y., Kawanami S., and Koizumi T.: Enantioselective Synthesis of (-)-Boschnialactone. *Chem. Lett.* 1585-1586, 1990.
- 4) Arai Y., Matsui M., and Koizumi T.: An Enantiodivergent Synthesis of Fused Bicyclo[2.2.1]heptane Lactones *via* an Asymmetric Diels-Alder Reaction. *J. Chem. Soc., Perkin Trans. 1.* 1233-1234, 1990.
- 5) Takahashi T., Matsui M., Maeno N., Koizumi T., and Shiro M.: Preparation of Optically Active 1, 3, 2-Oxathiaphosphorinanes Using (-)-10-Mercaptoisborneol as a Chiral Source. *Heterocycles*. 30: 353-357, 1990.
- 6) Takahashi T., Kotsubo H., Iyobe A., Namiki T., and Koizumi T.: A New Synthetic Approach to Pseudo-sugars by Asymmetric Diels-Alder Reaction. Synthesis of Optically Pure Pseudo- β -D-mannopyranose, 1-Amino-1-deoxypseudo- α -D-mannopyranose and Pseudo- α -L-mannopyranose Derivatives. *J. Chem. Soc., Perkin Trans. 1.* 3065-3072, 1990.
- 7) Okada K., Takeuchi Y., Watanabe M., and Arai S.: *n*-Alkylphenyldimethylammonium Salts as Inhibitors of the Ice Nucleating Activity of *Erwinia ananas*. *Agric. Biol. Chem.* 54: 549-550, 1990.
- 8) Takeuchi Y., Ogura H., Ishii Y., and Koizumi

T.: Chemistry of Novel Compounds with Multifunctional Carbon Structure. VI. Synthetic Studies and ^{19}F -Nuclear Magnetic Resonance Investigation of Novel α , α -Disubstituted Fluoroacetates. Chem. Pharm. Bull. **38**: 2404-2408, 1990.

◆学会報告

- 1) 竹内義雄, 永田和弘, 萩 徹, 金田有弘, 小泉 徹: 複数のヘテロ原子官能基の組み合わせを利用したモノフルオロ合成素子の分子設計. 第17回ヘテロ原子化学討論会, 1990, 1, 小倉.
- 2) 荒井謙次: 独自の分子設計による新規光学活性 α , β -不飽和スルホキシドの合成と不斉ディールス・アルダー反応. 日本薬学会北陸支部第81回例会(研究奨励講演会), 1990, 7, 金沢.
- 3) 河南三郎, 荒井謙次, 小泉 徹: 不斉ディールス・アルダー反応を活用する(-)-ボシュニアラク톤の合成研究. 日本薬学会第110年会, 1990, 8, 札幌.
- 4) 荒井謙次, 松井 誠, 小泉 徹: 光学活性 α -(スルフィニル)マレイン酸イミド類の合成と不斉ディールス・アルダー反応. 日本薬学会第110年会, 1990, 8, 札幌.
- 5) 紺谷 徹, 荒井謙次, 小泉 徹: (イソボルネオール-10-スルフィニル)プロパ-1, 2-ジエンの分子内水素結合について. 日本薬学会第110年会, 1990, 8, 札幌.
- 6) 小坪弘典, 高橋たみ子, 小泉 徹: Sulfinylacrylate の不斉 Diels-Alder 反応—Cycloadduct 誘導体の Pummerer 反応の検討. 日本薬学会第110年会, 1990, 8, 札幌.
- 7) 金田有弘, 竹内義雄, 永田和弘, 小泉 徹: 多重官能性構造を有する新規化合物の化学 12. 三級フッ化物の合成法の開発研究. 日本薬学会第110年会, 1990, 8, 札幌.
- 8) 小倉浩暢, 竹内義雄, 小泉 徹: 多重官能性構造を有する新規化合物の化学 13. 多重官能性 α -フルオロケトン類の合成. 日本薬学会第110年会, 1990, 8, 札幌.
- 9) 伊藤典明, 竹内義雄, 野手 宏, 小泉 徹: 多重官能性構造を有する新規化合物の化学 14. α -シアノ- α -フルオロフェニル酢酸の合成. 日本薬学会第110年会, 1990, 8, 札幌.
- 10) Koizumi T.: Sulfinylethenes, Versatile Molecules for the Chiral Synthesis of Bio-Active Compounds. 14th International Symposium on the Organic Chemistry of Sulfur, 1990, 9, Lodz, Poland.
- 11) 竹内義雄: 新規光学純度決定試薬(CFPA)の開発研究. '90中日フッ素化学工業とファインケミカルズのシンポジウム, 1990, 10, 広州.
- 12) Takeuchi Y., Kanada A., Nagata K., and Koizumi T.: Regioselective Routes to Secondary and Tertiary Alkyl Fluorides. SINO-Japanese Seminar in Organo-fluorine Chemistry, 1990, 10, Shanghai.
- 13) 竹内義雄, 伊藤典明, 佐藤俊広, 小泉 徹: 光学純度決定試薬の開発研究. 第15回フッ素化学討論会, 1990, 10, 東京.
- 14) 荒井謙次, 林 一也, 松井 誠, 河南三郎, 紺谷 徹, 小泉 徹: (*R*)_s-2-エキソ-ヒドロキシ-10-ボルニルスルフィニル基を有する光学活性スルフィニルエテン類の分子設計と応用. 第16回反応と合成の進歩シンポジウム, 1990, 11, 東京.
- 15) 竹内義雄: 多重官能性炭素化合物の応用研究. 第20回有機合成化学協会関東支部シンポジウム, 1990, 12, 新潟.
- 16) 荒井謙次, 高土居雅法, 紺谷 徹, 小泉 徹: 熱的に安定なキラルアレンスルホキシド, (*R*)_s-(2-エキソ-ヒドロキシ-10-ボルニルスルフィニル)プロパ-1, 2-ジエンの合成. 第18回ヘテロ原子化学討論会, 1990, 12, 千葉.
- 17) 小泉 徹: スルフィニルエテン型キラルジエノフィルの分子設計と応用. 第18回ヘテロ原子化学討論会, 1990, 12, 千葉.

薬 剤 設 計 学 (1)

教 授 上 野 雅 晴
助 教 授 吉 川 広 之
助 手 柏 木 寛

◆ 著 書

- 1) 上野雅晴: リポソーム—調整, 性質, 機能—. 「生体コロイド」嶋林三郎他編, 423-446, 広川書店, 東京, 1990.

◆ 原 書

- 1) 中川輝昭, 川端奈緒美, 足立伊佐雄, 上野雅晴, 堀越 勇: 微小熱量計による線溶酵素活性の測定. 病院薬学 **16**: 185-188, 1990.
- 2) 篠田健一, 足立伊佐雄, 上野雅晴, 堀越 勇: リポソームの膜透過性及び粒子径に及ぼすセファランチンの影響. 薬学雑誌 **110**: 186-190, 1990.
- 3) Takada K., Oh-hashii M., Yoshikawa H. and